



令和二年年頭のご挨拶

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

新しい年号はまだなじめませんが、令和初めての年末年始を過ごされた会員のみなさまご健勝のことと思います。あと半年足らずでまた夕張岳の活動が始まります。毎年同じようなことを書いていますが、今年の活動はルーチン行事のほか、山の保護活動については、旧木道の撤去計画立案及び撤去作業があります。これについては一月二十七日役員会の前段階で打ち合わせが計画されています。一般登山者にも願っていることとなりますが、皆さんの力も大いに發揮する、山家冥利に尽きる仕事です。

私がパークボランティアをしていた時、裏旭岳のキャンプ地から掘り出したごみが三百キロ以上ありました。まずはニセ金庫岩まで運びましたが、それから先は数人のボランティアでは時間がかかり過ぎるということで、下山する人に運んでもらうことにしました。五キロくらいは運びやすい大きさにしてお願したところ、みな快く引き受けてくれました。何せ登山者の多い旭岳です。アット言う間に全部下げることが

第 111 号

2020.01.30 発行

(令和 2 年)

ユウパリコザクラの会
事務局

〒 069-0835

江別市文京台南町 53-13

TEL/FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

https://www.facebook.com/yuparikozakura/

com/yuparikozakura/

できました。姿の見駅からはお客さんの少ない時を見計らってロープウェイで下に下ろしました。これについては北海道新聞の「まど」に掲載されたことがあります。夕張岳は登山人口も少ないし、旭岳より長い道のりですが、登山者は何らかの形でボランティア活動をしたいと思っています。きっと成功すると思います。

ヒュッテ工事の方は、水道工事、母屋煙突工事が大きい工事としてあります。上水工事の方は里でできることは里でと思っています。もうぼちぼち取水箱の作成をしようと思っています。今回は水道配管の専門家荒川和夫さんが会員にいたので良いアドバイスを得られると思います。

煉瓦煙突の工事ですが、これは現地です。きなく、六月の林道開いてからの作業になります。煉瓦の購入運搬、施工部屋根のぶち抜き、防雪屋根の作成設置、トタン葺き作業。どれも初めてやることで、自信はありませんが、人のやったことは出来ると信じてやってみましょう。どの工事も人を投入すれば出来るというものではありません。取水口までの配管の敷設



昨年末の夕張岳ヒュッテの様子。例年であれば1メートル位の積雪がある時期ですが、おおよそ半分以下の積雪状況です。今年は水道設備新規引き直しや、レンガを使った工事を予定しています。

は固雪のあるうちに人力でやらなければなりません。絶大なご協力をお願いいたします。やたらに作った出窓がありますがこれに庇があるのは母屋の南側の窓だけです。あとはありません。雨漏りが激しく出窓に物をおけません。部材は里で加工しつつありますが、これも施工しなければなりません。挙げればきりがないので、ここではこのくらいにしておきます。

昨年一月二十八日、二十九日ヒュッテに行ってきた。雪が非常に少なく問題なく着くことができました。水道の配管が外れヒュッテの南側が川のように水浸しでした。幸か不幸か雪がすべて融けて地面が見えていました。やはり月に一回は様子を見に行かなければなりませんね。

みなさん、今年も年間を通しての保全保護活動の参加よろしく願っています。

北海道高山植物保護ネット2019
年度市民フォーラムに参加しました。

北海道高山植物保護ネット二〇一九年度市民フォーラムが例年通り十一月九日北海道大学大学院環境科学学院で開催され、当会からも藤井代表をはじめ六名で参加してきました。

フォーラムは、主催の北海道大学の中原雅委員長からの挨拶で始まり、「夕張山系の岨山について、胆振地震の影響と入山規制後の状況」という題で、岨山自然保護協議会の斎藤雅樹代表と北海学園大学名誉教授の佐藤謙先生により説明が行われました。岨山ですが、夕張山地の北側に存在する千七十二mの山です。大夕張側コースの中間地点である「望岳台」から方位角にして二・二度、距離にして約一九・三kmに岨山を望むことができます。手前にある夕張山地の山らしい急峻な山容の一四一五m峰や一四五七m峰（シューパロ岳）の左奥に鎮座する岩山が岨山です。その岩山の山頂の容姿はまるで恐竜の背中とも評され、荒しくも感ぜられます。その特徴的な石灰岩帯を持つ岨山は、同じく特徴的な蛇紋岩帯を持つ夕張岳と共に花の名山です。石灰岩帯という特異な土壌の為に貴重な植物が多い故、残念ながら狙われる的にもなっています。入山制限措置という大胆な規制を行うことにならなくなってしまうのは、なんと



フォーラムの会場の様子。資料代は¥500で道内から保護ネットの会員や高山植物に興味がある市民の皆さんが集まっています。今年は130名の来場があったそうです。

も哀しいことでもあったと思います。講演では地震の影響を受けての岩盤の崩落状況などで、貴重な高山植物の生息地が埋まってしまった経緯や、保護活動の実施によって、守られてきた植物の状況などが説明されました。植生の回復以外にも、外来種をこれ以上入り込ませないという観点から、モニターツアーなどで外来種の除去作業などもして、コザクラの会でも同じような施策をできないか検討しています。

続いて人気のパートである植物写真家の梅沢俊さんからの講演があり、「二〇一九夏ヒマラヤで見た花々」と題して発表がありました。若手研究者による研究事例紹介では「分断されたオオバナノエンレイソウ集団の今と将来」・「雌雄異株植物コウライテンナンショウの性転換来年のオス・メスはいつ決まるのか？」など興味深い内容の研究結果が発表されました。



植物写真家の梅沢俊さんの講演はいつも人気があります。昨年に続き、ヒマラヤの花の写真のお話でした。この講演のみを聞きに来る方もかなりいて、終了するときには3~4割の方が退席してしまう事が主催者にも頭の痛い問題のようです。

加盟団体からは、北海道地方環境事務所国立公園課・柳川智巳氏から「日高山脈襟裳国立公園及び周辺地域調査業務について」、北海道生物多様性保全課・坂村武さんから「高山植物の保護と今後の対策の方向」についての講演がありました。夕張岳がある富良野芦別道立自然公園が制定されたのは一九五八年であり、今年で六二年が経過しようとしています。国立公園の国立公園化や道立自然公園から国定公園への「格上」が検討されている状況もある中、日高山脈と同様に原始性が深い夕張山地が現状のままの評価になっている事は、いささかさみしい気もします。但し、目の前には温暖化やエゾシカの食害など、多様性の根源でもある高山植物の植生変化に目を向けなければなりません。何かしらのアクションも必要ですが、とりまとめができるマンパワーもないのが実情ですので、もっと認知が増える方向での対応を試みていきたいと思えます。

札幌女性史研究会と講和

前事務局長 水尾 君尾

令和元年の年の瀬も押し迫る十二月六日札幌エルプラザに於いて、女性史研究会の例会に招かれ、藤井代表と水尾前事務局長が「夕張岳の保全活動から三十年」と題しお話しする貴重な機会に恵まれました。それには同研究会所属の本田明子会員（元夕張市在住）の計らいがありました。本日の例会では、市の社会的背景から会がどの様にして活動を展開させてきたのかについて報告しました。

会の創成期は、一九八八年夕張市は地域振興の最大プロジェクト「夕張岳ワールドリゾート開発構想」を公表、一九八九年国の天然記念物指定することを目標に当会が発足、草の根の市民運動が手探りで始まる。同年八木健三北海道自然保護協会会長（当時）を実行委員長に願い「あすの夕張と自然を考えるシンポジウム」を参加者二五二名で開催し大きな反響を得て、会の活動に弾みがつきました。

文化指定に向けて他団体と交流、後援会、学習会、例会で思いを共有し本格的な活動が動き出しました。一九九三年、市と教育委員会への働きかけにより、官民合同の関係者協議会が設けられ、緊急保護対策として登山道のコースロープと看板を設置し、営林署では林道終点の木橋をコンクリート橋に施行、一九九四年、南富良野町へも働きかけて、登山会やシンポジウ

ムを開催し、要望書を道に提出することとなりました。この様にして関係自治体の体制が揃い一九九六年六月官報に告示、念願の国の天然記念物指定を受けました。

喜ひも束の間、翌年高山植物の大量盗掘が発覚され、盗掘を契機に一九九八年、山岳団体、自然保護団体、山野草愛好家、ナーセリー、研究者らと連携を図り盗掘防止するための全道集会を催しました。参加団体からの危機感が高まり高山植物の保護制度を作ろうと即座にネットワーク組織を設立します。委員長に小野有五北海荘大学院教授（当時）が就任され、一九九九年盗掘に対しては厳罰強化を求める請願活動を法務大臣へ行い、国は高山植物保護を決めました。二〇〇一年、北海道は全国に先駆けて、希少野生動物保護条例を制定し、条例で保護種を



メンバーとの記念撮影

指定しました。夕張岳から現在七種が指定となりま

設定され、国、道の保護対策も強化されました。孤軍奮闘していた小さな会ですが、ネットワークを築きながら条例制度まで、国を二度動かし目標を成してきました。

二〇〇八年、市の財政破綻により、維持管理が困難になり、解体となる市営ヒュッテを会で丸ごと請負うことになりました。二〇一〇年市営ヒュッテの再建三年計画を発表、棟梁は藤井代表で就業者は会員・友人の手弁のボランティア集団です。土台と屋根トタン張りは地元業者に依頼した以外は、大工も建築もこれらすべて人力でコツコツ積み上げ竣工に漕ぎつけました。トイレ棟は改良を重ね照明は人感センサーにより自動点灯、そばガラとおが粉によるバイオトイレとして運用三年目です。

登山者の拠点となるヒュッテが再建された事で子供たちの体験学習交流課登山を回を重ね実施しています。夕張岳の自然の中で思い切り楽しみ、ふるさとの山の素晴らしさを感じ、語りつてほしいと思います。

女性史研究会では、「蝦夷地」から「北海道」と改称されて以後、埋もれる女性史を掘り起こし壮大な年表を編む「北の女性史」（一九八六年発行 北海道新聞社）を発行しています。女性史研究会の皆さまには、私の稚拙な話を静聴頂いてごより感謝いたします。尚、藤井代表は、ヒュッテの建て替え・管理役割について説明し好評でした

今後のスケジュール（予定含む）		
月	日	各行事内容
1	24(金)～25(土)	ヒュッテ雪下ろし（予定）
	27(月)	前岳湿原木道整理事業キックオフミーティング（札幌Lプラザ）
2	22(土)～23(日)	ヒュッテ雪下ろし（予定）
3	20(金)～22(日)	春山パトロール（予定）
4	18(土)～19(日)	新水道設備敷設準備（1）（予定）
	25(土)～26(日)	新水道設備敷設準備（2）（予定）

2020年度卓上カレンダー完売御礼！

昨年11月から販売をさせていただきました2020年度のカレンダーですが、おかげ様で110部を完売しました。お買い求めいただきました皆様、ありがとうございます。収益金では「油圧薪割機」を購入して、来期からの薪割作業の軽減に役立てたいと思います。ちなみに2021年度カレンダーは「夕張の小さな自然」をテーマにする予定です。

30周年記念誌はホームページから購入申し込みができます

30周年記念誌「夕張岳 大いなる自然 ～その魅力を訪ねて～」(定価1500円)をコザクラの会ホームページから申し込み可能です。

<http://yuparikozakura.org/>

お電話での申し込みは以下までお願致します。

Tel 080-6090-1839 事務局 菊地まで



A5サイズ オールカラー 208P
 専門家の先生の執筆による地質、森、植物、鳥類、昆虫など多角的に解説、炭都夕張の歴史や登山情報なども網羅しています。夕張岳の標高別の花のライブラリは必見。送料込 ¥1,620



令和二年一月二日に「夕張市成人祭」が清水沢地区公民館で行われました。ユウパニコザクラの会では三〇周年記念誌を全新成人に藤井代表のメッセージ入りでプレゼントしました。夕張市から巣立ってゆく新成人に、「ふるさとの山（夕張岳）」の素晴らしい自然や高山植物など、少しでも理解していただき、興味を持ってもらいたいとの気持ちで込められたプレゼントです。記念誌は夕張市教育委員会を通じて、他の記念品と一緒に新成人に配布されたとのこと。夕張高校におきましては卒業式にて渡される予定です。

新成人が家庭を持ち、子供が生まれてその子がまた二〇歳になった時は、社会は大きく変わっていると思いますが、夕張岳の自然はどう変わっているのでしょうか？その時まで、今のままの大自然が保たれている事を望みたいですが、そのためには次世代の「保護者」も必要になってきます。

サン・テグジュペリの名言に『地球は先祖から受け継いでいるのではない、子どもたちから借りたものだ。』という言葉があります。夕張岳の自然も「子供たちからの授かりもの」と考えると、今私たちは新成人や夕張高校卒業生の年代の皆さんとともに考え、協力しながら保護＆保全に取り組んでいかなければならないでしょう。

30周年記念誌を夕張市新成人60名
 夕張高校卒業生19名に寄贈しました

会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパニコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパニコザクラの会

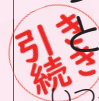
ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物学芸員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理 炊事棟建設にご支援を！



いつもコザクラの会ならびにヒュッテ管理委員会への多大な寄付をありがとうございます。代表の年頭の挨拶にもありましたが、今年ヒュッテでは新取水口からの水道敷設工事と、レンガでの煙突の工事が計画されています。完成しますと、また一層雰囲気も変わりそうですね。引き続きのご支援をお願いいたします。

名義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会
 ゆうちょ口座：02750-6-97634